

(案)

社会資本整備総合交付金

(都市再生整備計画事業)

事後評価シート

大手前通り周辺地区(第2期)

平成31年1月

島根県松江市

評価結果のまとめ

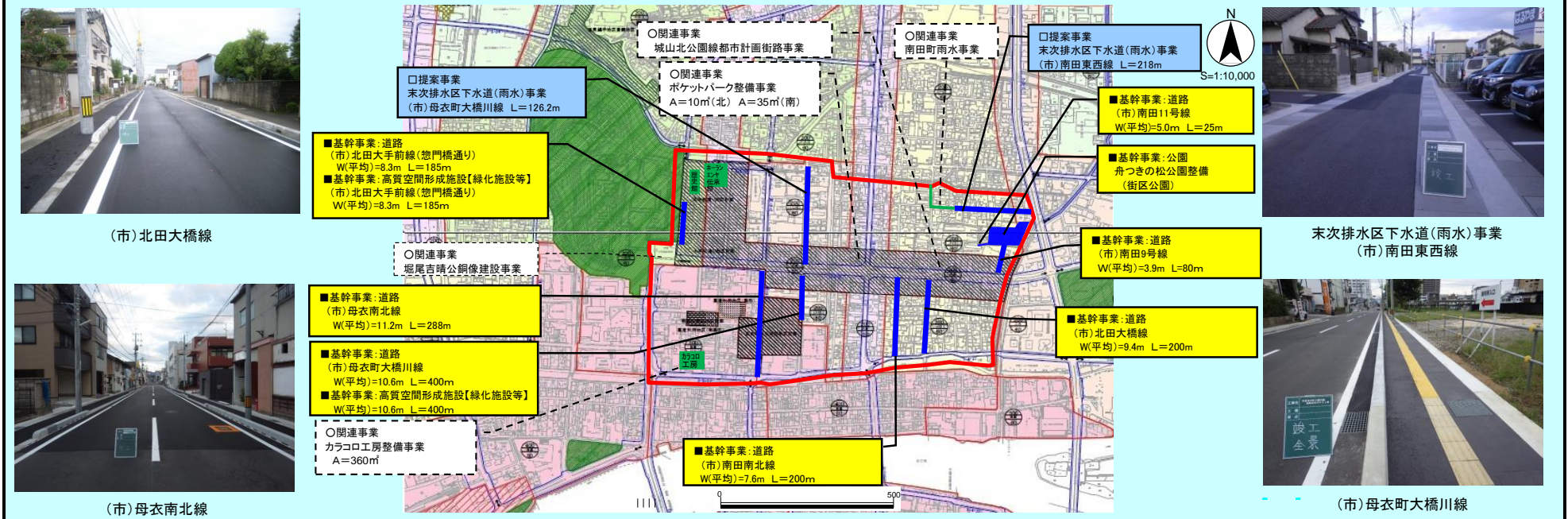
都道府県名	島根県		市町村名	松江市	地区名	大手前通り周辺地区(第2期)		面積	63ha
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成30年度	交付対象事業費	346.3百万円	国費率	45.0%	
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 ■道路 (市)北田大手前線、(市)母衣南北線、(市)母衣町大橋川線、(市)南田南北線、(市)北田大橋線、(市)南田9号線、(市)南田11号線 ■公園 舟つきの松公園 ■高質空間形成施設 (市)北田大手前線、(市)母衣町大橋川線						
		提案事業	■地域創造支援事業 末次排水区下水道(雨水)事業:(市)母衣町大橋川線、(市)南田東西線						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	■高質空間形成施設 (市)南田9号線	削除/追加の理由 ■高質空間形成施設 ・南田9号線 舟つきの松公園整備に係る住民訴訟の提起を受け、関連道路である本線の美装化を中断したために削除したものの。	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	■地域創造支援事業 南殿町歩行道路整備事業、カラコロ工房整備事業 ■まちづくり活動推進事業 大手前地区まちづくり推進事業	■地域創造支援事業 ・南殿町歩行道路整備事業:本事業の予定地と、東側に隣接した老朽化したビルを合わせた再開発事業の検討が始まり、事業計画を再検討する必要が生じ、計画期間内の実施が困難となったため。 ・カラコロ工房整備事業:本事業を総務省所管の「地域の元気臨時交付金」により実施することとし、提案事業から関連事業に変更したため。 ■まちづくり活動推進事業 ・大手前地区まちづくり推進事業:行政と住民との情報の共有を図ることを目的とし、事業に関する機関誌を発行することとしていたが、関連事業で整備している県施行街路事業で定期的に発行している機関誌と内容が重複することとなったため。	影響なし				
		新たに追加した事業	なし	-	-				
		提案事業	なし	-	-				
	交付期間の変更	当初変更	平成25年度～平成29年度 なし	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	-				

	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	指標1	指標2		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	惣門橋通りの歩行者数	人	1,716	H24	1,802	H29		1,790	△	あり なし ●	(市)北田大手前線の工事が計画期間内に完了せず、高質化が図れなかったために、従前値よりは歩行者数が向上したものの、目標は達成できなかった。	H31.9	
	指標2	地区内主要道路のバリアフリー整備率	%	36.9	H24	66.5	H29		66.5	○	あり なし	市道の歩道のフラット化及び幹線道路となる(都)城山北公園線の竣工により、目標値の66.5%を達成した。		
	指標3	道路・水路・公園等の満足度	%	33	H24	51	H29		71	○	あり なし	歩道のフラット化・拡幅及び側溝の整備等により、歩行時の安全性が増し、歩行環境が改善されたことが評価され、満足度が上昇した。		
3)その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	その他の数値指標1	その他の数値指標2		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1	松江歴史館の来場者数	人	168,795	H24				193,921				歩行環境の向上と松江城天守の国宝指定による来場者数の増。	
その他の数値指標2	ホーランエンヤ伝承館の来場者数	人	4,148	H24				8,338				歩行環境の向上と松江城天守の国宝指定による来場者数の増。		
4)定性的な効果発現状況	<p>■本事業を実施するにあたり、既存組織である「まちづくりを考える会(大手前通りみちづくり協議会)」が中心となり、行政との窓口を担い、事業推進に大きな協力を得ることができた。</p> <p>■歩道の整備により、歩行環境の改善が図られるとともに、街の景観の向上に寄与した。</p> <p>■地区内の幹線道路である街路整備に併せて決定した都市計画(用途地域・地区計画)に基づき、大手前通り沿道においては良好な街並みが形成されている。</p>													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	事業期間中間年度には、モニタリングを実施し、事業の進捗状況や効果の発現状況、数値指標の達成状況を確認し、関連事業である城山北公園線の事業進捗も勘案しながら必要な対応を行う。		都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	舟つきの松公園整備事業の中断や市道整備予定箇所の変更など、モニタリング予定時期に目標指標の変更を伴う計画変更を行うこととなり、調整に時間を要したため、モニタリングは実施しなかった。					
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	地域内においては、各町内会等関係組織が、行政との窓口役を担い、地区住民との意見調整を行う。また、舟つきの松公園の整備については、「舟つきの松跡地整備を考える会」が行政との窓口役となり、整備や維持管理の方針を討議するとともに、歴史・文化の継承や地域コミュニティの推進などの活動についても協議を行う。		都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	舟つきの松公園については、住民訴訟の結果を踏まえ、引き続き地域住民と調整を図りながら、今後の整備や維持管理の方針を検討していく。					
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった														
持続的なまちづくり体制の構築	第1期計画完了時には、大手前通り沿道の各町内会等関係組織と事後評価の意見交換を行った。第2期計画事業についても、引き続き「まちづくりを考える会」を中心に各町内の良好なまちづくりの推進及び大手前通り沿道全体を通しての賑わい創出を目指して活動を行う。また、本地区内で整備されるポケットパークや公園については、地区住民との協働により維持管理を行う。		都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	今後も町内会等関係組織が中心となり、各町内の良好なまちづくりの推進及び大手前通り沿道全体を通しての賑わい創出を図る。また、ポケットパークについては、地区住民でつくる道路愛護団により維持管理を行う。						
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

地区の概要

大手前通り周辺地区(島根県松江市)社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)の概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標 暮らす人も訪れる人も安心快適な、住んでよし、訪れてよしのまちづくり 目標1 歴史や文化に触れ合えるまちづくりを進め、地域コミュニティの向上を図る。 目標2 来街者にとって快適な歩行空間を確保し、回遊性の向上を図る。 目標3 生活に身近な道路・水路・公園等を整備し、安心・安全で快適な生活環境の向上を図る。	惣門橋通りの歩行者数	単位: 人 1,716 H24	1,802 H29	1,790 H29
	地区内主要道路のバリアフリー整備率	単位: % 36.9 H24	66.5 H29	66.5 H29
	道路・水路・公園等の満足度	単位: % 33 H24	51 H29	71 H29
	松江歴史館の来場者数	単位: 人 168,795 H24		193,921 H29
	ホーランエンヤ伝承館の来場者数	単位: 人 4,148 H24		8,338 H29



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幹線道路である(都)城山北公園線街路事業及び本計画事業により、地区内の主要な道路の整備が完了し、住民から強い要望のあった安全・快適かつ景観に配慮した通行環境が形成された。 ■ H27の松江城天守の国宝指定により、城下町松江の歴史や伝統行事に対する関心が高まり、第1期計画事業及び関連事業で整備された松江歴史館、松江ホーランエンヤ伝承館の来館者が増加するとともに、当地区を訪れる観光客も増加した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地区内の主要な道路の整備が完了し、歩行環境の安全性・快適性が高まったことを受け、町内会等関係組織が中心となり、各町内の良好なまちづくりの推進及び大手前通り沿道全体を通しての賑わい創出に取り組み、中心市街地の活性化を推進する。また、地区内で整備されたポケットパークについては、地区住民でつくる道路愛護団により維持管理を行い、住民や歩行者の憩いの場として活用していく。 ■ 舟つきの松公園については、住民訴訟の結果を踏まえ、引き続き「舟つきの松跡地整備を考える会」が行政との窓口役となり、今後の整備や維持管理の方針を検討していく。